

議題 5 (委員会決裁事項 (規則第 3 条第 1 号))

府立佐野工科高等学校の系・専科の改編について

平成 27 年度より、府立佐野工科高等学校の系・専科について次のように改編する。

平成 26 年 6 月 20 日

大阪府教育委員会

府立佐野工科高等学校の系・専科改編について

1 改編のねらい

- グローバル化や ICT 化の進展などにより産業構造は大きく変化した。佐野工科高校が所在する泉州地域の地域産業である繊維産業の形態も大きく様変わりした。
- 専門知識や技術・技能の習得のみならず、こうした社会の変化に対応できる次世代のものづくり人材を育成することが必要である。
- 以上の観点から佐野工科高校の系・専科の改編を行う。

2 改編の内容

(1) 考え方

- 創造性を育み、アイデアを形にして新しい価値・体験を提案する「創造的問題解決型」の次世代のものづくり人材を育成する。
- 繊維産業の実情や生徒の多様なニーズを踏まえた改編を行うことにより、生徒の幅広いキャリアデザインを可能とする。

(2) 系・専科の改編

| 改編前 | | | | 改編後 | | | |
|----------------|---------|---------------|------------|---------------|-----------------------|------|------------|
| 1 年生 | 2・3 年生 | | | 1 年生 | 2・3 年生 | | |
| | 系 | 専科 | 人数 (学年) | | 系 | 専科 | 人数 (学年) |
| 総合募集 <前期選抜> | 電気系 | 電気技術専科 | 40 人 | 電気系 | 電気技術専科 | 40 人 | |
| | | 電子制御専科 | 40 人 | | 電子制御専科 | 40 人 | |
| | 機械系 | 機械技術専科 | 80 人 | 機械系 | 機械技術専科 | 80 人 | |
| | | 機械設計専科 | 40 人 | | 機械設計専科 | 40 人 | |
| | テキスタイル系 | プロダクト 工学専科 | 40 人 | 産業創造系 (仮称) | 製品開発専科 (仮称) | 40 人 | |
| | | デザイン工学 専科 | 40 人 | | テキスタイルデザ イン専科 (仮称) | 40 人 | |

(3) 教育内容

- 基本的な技術の習得に加え、「創造性」と「ICT を活用したものづくり技術」を連動させ、製品開発のための知識や技術を学習し、創造性や課題を解決していく能力を育む。
- ※「創造性」と「ICT を活用したものづくり技術」を連動した教育プログラムを開発する。
- ※そのカリキュラムを産業創造系（仮称）でモデル実施した上で、佐野工科高等学校の全ての系において展開を図る。
- ※佐野工科高校の実践を検証し、他の府立工科高校へ応用することについて検討する。

○製品開発専科（仮称）

- ・3D プリンタの活用方法や、金属、木材等の工業全般の製品を学習対象とする

○テキスタイルデザイン専科（仮称）

- ・布製品のデザインを中心に、新素材も含めた繊維製品を学習対象とする

3 今後のスケジュール

| | |
|-------------|-------------------------|
| 平成 26 年 6 月 | 教育委員会会議（系・専科改編公表） |
| 〃 | 新系・専科準備委員会設置 |
| 平成 27 年 2 月 | 平成 27 年度入学者選抜 |
| 3 月 | 大阪府立高等学校等の管理運営に関する規則 改正 |

佐野工科高等学校 系・専科の改編 「産業創造系 製品開発専科・テキスタイルデザイン専科」

～「創造性」と「ICT を活用したもののづくり技術」を連動した教育カリキュラムの開発～

産業創造系（仮称）

○ものづくりに関する幅広い知識と技術に加え、製品開発やデザイン技術などを習得させ、新しい製品や技術を生み出す創造力や、問題を発見し、身につけた知識、技能・技術を総合的に活用して課題解決していく能力を育む。

《共通科目》

- 1年 ◇工業技術基礎 ◇情報技術基礎 ◇電気基礎 ◇（学）製図基礎
 2年 ◇（学）製品開発Ⅰ ◇デザイン技術 ◇工業数理基礎 ◇工業管理技術
 3年 ◇（学）製品開発Ⅱ ◇環境工学基礎 ◇課題研究



製品開発専科（仮称）

○製品を開発する基礎的な知識や技術を身につけるとともに、工業各分野の製作・加工技術を総合的に活用できる人材の育成をめざす。

- 各種工作機械の技術の習得と、3DプリンターなどCNC加工機をはじめとするICTを活用したもののづくり技術の基礎を学習する。

《専門科目》

- 2年 ◇製品開発実習（情報、電気、クラフト、CADなど）
 3年 ◇製品開発実習（電気制御、金属加工、3DCADなど）
 ◇生産システム技術
 ◇（学）産業財産権 ◇デザイン材料

【主な進路】

- 機械、電気、印刷など工業全般の分野に幅広く就職
- 工学系大学

テキスタイルデザイン専科（仮称）

○デザイン技術や新素材を活用するための知識、技能・技術を身につけるとともに、テキスタイル技術を幅広く工業分野で応用できる人材の育成をめざす

- デザインの基礎から、テキスタイル製品をはじめとする工業製品の開発、製作加工技術まで幅広い工業技術の習得を図る。

《専門科目》

- 2年 ◇テキスタイルデザイン実習（染色技術、デザイン技法、ユニバーサルデザイン、ソーイング、CADなど）
 3年 ◇テキスタイルデザイン実習（CGデザイン、テキスタイル技術、3DCADなど）
 ◇（学）テキスタイルデザイン ◇（学）テキスタイル製品

【主な進路】

- 繊維産業関係の企業、電気、機械、印刷など企業に幅広く就職
- デザイン関係の大学、専門学校

※図中の系および各専科の科目については今後変更することがあります。